

AP-SH4-0A(SH7750R CPU BOARD) サンプルプログラム解説

初版 2003年2月10日

1. 概要

1. 1 概要

本サンプルプログラムは、AP-SH4-0Aの動作を確認する簡単なプログラムです。
サンプルプログラムは、周辺機能の中で使用頻度の高いと思われるシリアル通信、タイマ割り込み処理を行なっています。
なお、本サンプルプログラムを動作させるためには、AP-SH4-0A専用ダウンローダが必要です。
ダウンローダにつきましては、「AP-SH4-0Aハードウェアマニュアル」をご覧ください。

1. 2 動作モード

本サンプルプログラムは、AP-SH4-0Aで動作します。CPUモード、クロックモードは下記のようになっています。
モードの設定方法等につきましては、「AP-SH4-0Aハードウェアマニュアル」をご覧ください。
なお、下記以外の条件で動作させる場合には、ソースファイルやコンパイラオプションなどを変更する必要があります。

CPUモード モード3 (システムクロック=162MHz、バスクロック=54MHz、周辺クロック=27MHz)

1. 3 対応コンパイラ

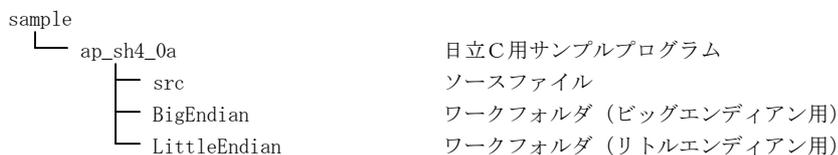
本サンプルプログラムはビルドするためには、下記のコンパイラが必要です。

コンパイラ名	バージョン	備考
日立SHC	Ver5	
日立SHC	Ver6以降	HEW対応

2. サンプルプログラムの構成

2.1 フォルダ構成

サンプルプログラムは下記のようなフォルダ構成になっています。



2.2 ファイル構成

サンプルプログラムは以下のファイルで構成されています。

<ap_sh4_0a¥フォルダ内>	
ap_sh4_0a.hwp	… HEW 用プロジェクトファイル
<ap_sh4_0a¥src フォルダ内>	
ap_sh4_0a_big.mot	… ROM 化ファイル (ビッグエンディアン用)
ap_sh4_0a_little.mot	… ROM 化ファイル (リトルエンディアン用)
main.c	… メイン処理
sci.c	… シリアル処理
boot.c	… CPU 初期化处理
vector.c	… 例外処理
7750s.h	… SH7750 シリーズ内部レジスタ定義ヘッダファイル
section.src	… セクション情報処理
make_b.bat	… ビルド用バッチファイル (ビッグエンディアン用)
meke_l.bat	… ビルド用バッチファイル (リトルエンディアン用)
<ap_sh4_0a¥ BigEndian、および ap_sh4_0a¥ LittleEndian フォルダ内>	
ap_sh4_0a.map	… マップファイル

3. ビルド方法

3. 1 日立C Ver6 以降

HEW（日立C Ver6 以降）を使用した場合のサンプルプログラムのビルド方法を説明します。

- ① HEW を起動し、`ap_sh4_0a.hwp` を読み込みます。
- ② 最初の読み込みを行なったときに、「ワークスペース (Workspace) が移動しました」という内容の確認メッセージが表示されますので「はい」を選択してください。
- ③ 最初の読み込みを行なったときに、コンパイラバージョンによって、バージョンの選択を行なうダイアログが表示されることがあります。表示された場合には、使用するコンパイラバージョンを選択してください。
- ④ エンディアンによって、コンフィギュレーションの選択を行なってください。コンフィギュレーションは、ビッグエンディアンのときには `BigEndian` を、リトルエンディアンのときには `LittleEndian` を選択してください。
- ⑤ メニューの `[Build]` - `[Build]` を実行してください。選択されたコンフィギュレーションによって、`ap_sh4_0a_big.mot` (ビッグエンディアン)、もしくは、`ap_sh4_0a_little.mot` (リトルエンディアン) が出力されます。このとき、マップファイルは、それぞれのワークフォルダに作成されます。

出力された、`ap_sh4_0a_big.mot` もしくは、`ap_sh4_0a_little.mot` を専用ダウンローダでボードに書き込んで動作確認を行なって下さい。ダウンローダの使用方法やボードの設定方法につきましては、「AP-SH4-0Aハードウェアマニュアル」を参照して下さい。なお、HEWの詳細な使用方法につきましては、HEWのマニュアルを参照して下さい。

3. 2 日立C Ver5

日立C Ver5を使用した場合のサンプルプログラムのビルド方法を説明します。

- ① Windows のDOS プロンプト、もしくはコマンドプロンプトを開きます。
- ② パスにコンパイラなどが存在するフォルダを設定してください。
- ③ 日立Cで使用する環境変数の設定を行なってください。
- ④ ソースファイルのあるフォルダへ移動します。ソースは、`sample¥ap_sh4_0a¥src` にあります。
- ⑤ `make_b.bat` もしくは、`make_l.bat` を実行します。実行する、`bat` ファイルは、エンディアンによって選択してください。ビッグエンディアンのときには `make_b.bat` を実行してください。(`ap_sh4_0a_big.mot` が作成されます)リトルエンディアンのときには `make_l.bat` を実行してください。(`ap_sh4_0a_little.mot` が作成されます) このときマップファイルは、`sample¥ap_sh4_0a¥src` フォルダ内に作成されます。

出力された、`ap_sh4_0a_big.mot` もしくは、`ap_sh4_0a_little.mot` を専用ダウンローダでボードに書き込んで動作確認を行なって下さい。ダウンローダの使用方法やボードの設定方法につきましては、「AP-SH4-0Aハードウェアマニュアル」を参照して下さい。また、日立Cの詳細な使用方法につきましては、日立Cのマニュアルを参照して下さい。

4. 動作説明

4. 1 サンプルプログラムの動作

本サンプルプログラムは、下記の動作を行ないます。

- SCIF でエコーバックを行ないません。(送受信割り込み使用)
SCIF から受信をした値をそのまま、SCIF へ送信します。
シリアルの設定は、38400bps、8bit 長、パリティなし、ストップビット 1 です。
動作確認は、パソコン上のターミナルソフト (telnet など) を使用して行ってください。
- I O ポートのビット 0~15 を 5msec 間隔で ON/OFF します。(TMU 割り込み使用)
- I O ポートのビット 16~18 を 10msec 間隔で ON/OFF します。(TMU 割り込み使用)
- LD1 (緑の LED) を 500msec 間隔で ON/OFF します。(TMU 割り込み使用)

ご注意

- ・本文書の著作権は（株）アルファプロジェクトが保有します。
- ・本文書の内容を無断で転載することは一切禁止します。
- ・本文書に記載された回路図およびサンプルプログラム等の著作権は（株）アルファプロジェクトが保有しますが、お客様のアプリケーションで使用される場合には、ご自由にご利用いただけます。
- ・本文書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。
- ・本文書に記載されている内容およびサンプルプログラムについての質問等のサポートは一切受け付けておりませんのでご了承ください。
- ・本文書の内容については、万全を期して作成いたしました。万が一不審な点、誤りなどお気づきの点がありましたら弊社までご連絡下さい。
- ・本文書の内容およびサンプルプログラムに基づき、アプリケーションを運用した結果、万一損害が発生しても、弊社では一切責任を負いませんのでご了承下さい。

- ・ Windows®の正式名称は Microsoft®Windows®Operating System です。
Microsoft、Windows、Windows NT は、米国 Microsoft Corporation.の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
Windows®XP、Windows®2000 Professional、Windows®Millennium Edition、Windows®98 は、米国 Microsoft Corporation.の商品名称です。
本文書では下記のように省略して記載している場合がございます。ご了承ください。
Windows®XP は Windows XP もしくは WinXP
Windows®2000 Professional は Windows 2000 もしくは Win2000
Windows®Millennium Edition は Windows Me もしくは WinMe
Windows®98 は Windows 98 もしくは Win98
- ・ GNUPro™は、レッドハット社の登録商標、商標または商品名称です。
- ・ IBM-PC/AT は、米国 IBM 社の登録商標、商標または商品名称です。
- ・ DOS/V は、日本 IBM 社の登録商標、商標または商品名称です。
- ・ SuperH は、（株）日立製作所の登録商標、商標または商品名称です。
- ・ その他の会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。



株式会社アルファプロジェクト
〒431-3114
静岡県浜松市東区積志町 834
<http://www.apnet.co.jp>
E-MAIL : query@apnet.co.jp